

## 長岡京サッカースポーツ少年団 保護者の皆様へ

平成28年4月

“めざせベストサポーター”

- i・これはサッカーを通して親と子供とのふれあいをより一層深めていただき、
- ii・子供たちの成長を共に経験していただきたいことと、
- iii・私たちの考えを知っていただき
- iv・心身ともに健康な子供を育てるために協力していただくためのものです。

出典資料は以下のところになりますのでぜひご覧ください。

日本サッカー協会HP→選手育成→右下 PLAYERS FIRST→めざせベストサポーター

[http://www.jfa.jp/youth\\_development/players\\_first/](http://www.jfa.jp/youth_development/players_first/)

### ①サッカーとはどんなゲーム「点を取られないようにして点を取る」

- 自分がボールを取ったらゴールをうばう
- 相手がボールを取ったらボールをうばう
- たった一つのボールで22人が楽しめる

### ②自立の第一歩 幼児から少年に

出来るだけ自立するよう仕向けましょう。

- i・簡単に物を買いはやらない。本当に必要かどうか考えさせる。祖父祖母にも注意。
- ii・物で釣るようなことは避ける。今あるものを大事にする。
- iii・日常生活で良いことをしたら言葉と態度で誉めてやる。頭をなでる、抱きしめる。  
物を与えることで誉めない。

生活面でも

- i・自分で出来ることは自分でする。サッカー練習の準備は自分でする、自分の荷物は自分で持つ、忘れ物をしたら出来るだけそのままにして不自由さを経験させる。
- ii・時間を守る。遅刻はうるさく言います。5分前集合です。でも遅れそうだとっても必ず安全運転でお願いします。
- iii・大きな声で挨拶。ご家庭でも朝の挨拶から夜の挨拶まで必ず行ってください。  
「GOOD HABIT」=日常生活のなかで良い習慣付けをするということで。  
食事の準備や片付け、自分の服の整理整頓など出来ることはやらせましょう。  
自分からすすんで行動したら言葉で褒めてください。  
保護者の皆様へ → 持ち物には必ず名前を書いてください。

### ③クラブへの協力

少年団はスポーツ塾ではありません。

指導員全員ボランティアで構成されています。

少年団活動には皆さんの協力が必要不可欠です。

しかし子供には子供の世界（Z O N E）があります。それを認めてやることが大事です。

そして大人は子供の良い見本になってください。

### ④こども自身の夢 - あなたの夢ではありません

親の夢は果てしなく続きますが・・・導くことは親の責任かも知れませんが夢を託すことはできません。

子供たちは限りない可能性を持っていることは事実です。昨日までできなかった事が今日出来るということばかりです。サッカーに限らず「続けたい」という気持ちが一番大切。

### ⑤サッカーと学校や生活のバランス

小学生の間にしか出来ないこと → 家族との遊び、サッカー以外の遊び

学業が一番 → サッカーだけしか出来ない子、サッカーしかしない子にしないでください。

### ⑥トライ・アンド・エラー

目標設定は大切 → 目標という意識は高学年になると理解できる

勝ち負けは結果 → ベストを尽くすことで勝てて嬉しい、負けて悔しい感情がわいてくる。

大人は冷静にコントロールされた気持ちで対応する。

### ⑦みんな大切な仲間 <リスペクト> 尊敬する、敬意を払う。

サッカーは仲間がいなくてはできない。

相手チームやレフェリーがいなくては試合は出来ない。

「敵」なんかいない、「相手」がいる。

そして試合の準備する人がいる、運営してくれる人がいる、審判をしてくれる人がいる、いろんな人がいるから試合が出来る。

### ⑧サッカーを知っている保護者さんへ

グラウンドの中では、コーチはコーチに任せてください。

経験者だからできることは「誉めること」です。歯がゆいでしょうが練習をすれば必ず出来ます。急がないで下さい、あせらないで下さい、子供に当たらないで下さい、何年後には相手にしてもらえないくらいに必ずなります。

経験のない保護者でも家で子供の相手になってください。

特に経験のある保護者の方へ → 子供のためではなく自分自身がサッカーにもう一度目覚めるため

に「4級審判」「D級コーチ」の資格を目指してください。

#### ⑨レフェリーの判定を尊重しよう

長岡京SSの応援はあくまでも「子供に対する応援」です。

自分のチームだけでなく相手チームのことも応援しましょう。

「パスしろ」とか「シュート打て」などの指示の声は絶対やめてください。

プレーするのは子供たちです。子供が自分で考え自分で行動します。

審判も人間です、間違った判定をする時もありますがしかしそれがサッカーです。

子供たちにフェアプレーを望むなら大人からフェアプレーを行いましょう。

#### ⑩フェアプレー と リスペクト

サッカーは一つのボールを奪い合うゲームです。

したがって体の接触は避けられません。それだけに「お互いがルールを守る」というフェアプレーの精神は必ず守らなければなりません。

フェアプレーとは

- i・「ルールを守る」→ ルールを正確に理解し、守る。
- ii・「レフェリーに敬意を払う」→ レフェリーの言うことは守る。
- iii・「相手に敬意を払う」→ 相手は敵ではない、仲間なのです。

特に卑怯な行為や怪我をさせるようなプレーに対しては厳しく対応します。

<リスペクト>

試合が出来ることに感謝する→ 準備をする人、運営する人、審判する人、お弁当を作ってくれる人、会場まで連れて行ってってくれる人、そんな人がいて自分たちはサッカーが出来ることを知る。

私は試合会場でグラウンドを横切ることがをさせません。何故ならせっかく準備してくれたピッチを荒らすことは準備した人に失礼だと教えています。

#### ⑪良いプレーに対して

皆さんはイエローカードやレッドカードの行動ばかり気にしていませんか？

U-12以下では良いことをしたとき、ポジティブな行動をしたときにはそれを評価し、誉めてやり「グリーンカード」を出します。

- ・ On the pitch → 怪我をした仲間や相手に対する思いやり、仲間を励ます行為など。
- ・ Off the pitch → 自分から率先してする行為など

家庭にあっても「ありがとう」「助かったわ」との声がけをしてください。

男は誉め言葉に弱い→「かっこいい」「やること男前や」 しかしいつもいつも言わないで下さい。

#### ⑫子供の中での言葉のいじめは厳しく対応します。

親としても子供の前で相手をけなしたり、悪いように言うことは子供も非常に敏感に感じ取ります。それが子供同士のいじめになることもあります。子供に限らず保護者の中でも陰湿ないじめは徹底的に

厳しく対応して、場合によって悪い影響が考えられる時には退団していただきます。

#### ⑬ コミュニケーション

サッカーにとってコミュニケーションは非常に重要です。

「自分の思いを人に伝える、相手の思いを理解する」

日ごろの家庭生活の中で親から話しかけて鍛えて欲しい。

いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どんな という仕掛けをする。

先回りしないで、察しの悪い親を演じて子供から話を引き出す工夫。

#### ⑭ 食生活

しっかりとした食習慣を！！ これをコントロールできるのは親だけです。

ファストフードやジャンクフード、炭酸飲料は極力避ける。

あごの発達と頭脳の発達につながる。

好き嫌いの半分は親の責任です、決して子供の責任ではありません。

一日三食＜特に朝食は重要＞と毎日の便通 → これは習慣になります。

最後に・・・

**<サッカーに関するコーチングおよび生活指導はコーチが担当します。>**

- ・保護者の皆様には家庭でしか出来ない必要なマナーを教えてください。
- ・ネガティブ（否定的な）なことから入るのではなくポジティブ（積極的、肯定的）な考え方で、自分の子供以外の子供に対しても積極的に応援してください。
- ・特に日常の中で、自発的に取り組んでうまく良い結果が出たら誉めてやり、上手くいかなかったら励ましてやってください。
- ・頭をなでたり、抱きしめたりして「あなたが大切だ」という温もりを伝えてください。
- ・愛されることを知っている子供は他の子供に対しての愛や思いやりを持てる子供になります。

以上



京都長岡京サッカースポーツ少年団